

新発売

落雷の危険、 見逃さない -落雷感知器-



屋外授業・部活動の継続判断を見える化します

- 60km以内の落雷を感知し警報音とLED点滅でお知らせします
- 小型で耐衝撃性に優れ、100時間以上継続作動可能です
(作動後2時間落雷を感知しない場合、自動的に電源OFFになります)
- スイッチを押すだけで落雷の距離・移動傾向、電池残量を確認できます
- 遠くの落雷をリアルタイムで感知するので、余裕をもって避難できます

落雷感知器 ストライクアラート

コード	日医希望価格
日医-25769	¥19,800 (税抜¥18,000)

- 寸法/70×50×30mm (クリップ部含)
- 重量/75g (電池含)
- 電源/単4形電池×2本 (テスト用付属)
- 日本語説明書付属 ● 1年間保証つき ● 製造国/米国



- ・携帯用落雷感知器であり、落雷を防止し100%安全を保障する装置ではありません。
- ・電気製品から排出する電磁波によって落雷の感知を妨害される場合があります。
- ・完全防水ではありません。

**ご存知、
ですか!?**

学校現場における 落雷事故について



2025年4月に奈良県の学校で部活動中のグラウンドにおいて、落雷事故が起こり生徒が搬送される報道がありました。2024年4月にも同様の事故が部活動中に起きています。

文部科学省では落雷事故の防止に係る避難時の留意点として下記の内容を示しています。



▼文部科学省 学校の危機管理マニュアル作成の手引より

【避難の留意点】

- 部活動などの屋外活動を中断し、速やかに屋内に避難します。
- 下校前の場合は、素早く情報を収集し、必要に応じて学校に児童生徒等を待機させます。その際は、学校の対応を保護者等に連絡することが大切です。



<雷鳴が近くで聞こえたら>

- 登下校時に発生した場合には、近くの安全な場所に避難し、無理に屋外を移動しないようにします。
- 自転車に乗っている場合は、すぐに降りて姿勢を低くして、安全な場所に避難します。
- 鉄筋コンクリート建築、自動車、バス、電車の内部は比較的安全です。
- 木造建築の内部も基本的に安全ですが、全ての電気器具、天井・壁から1m以上離ればさらに安全です。

落雷感知器 ストライクアラート(日医-25769) は約60km先の雷を感知し、距離によってLEDランプ点滅やアラート音でお知らせするので、部活動や校外活動の継続判断にも使えます。また雷の接近だけでなく、離れていく状況も確認できるため中断した活動の再開を判断する目安として参考になります。落雷事故の防止や安全に児童・生徒が避難できるよう備えとして、学校現場での導入をおすすめいたします。

株式会社 **日本医療器研究所**

〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目24番11号
TEL.03(3834)3191(代表) FAX.03(3831)8964